

平成 21 年度 事業報告

1 事業の成果

平成 21 年度は、世田谷区駒沢地区および東京湾を主な活動場所として事業を展開したほか、他団体への協力による大阪地区における現地勉強会の開催を行った。

【環境学習・教育事業】

環境学習・教育事業としては、前年度に引き続き、「子ども環境カレッジ」と題し、GEカレッジホールを利用した「夏休み☆環境＋生きもの体験」及び駒沢地区の住宅地と公園における鳥類の観察会、東京湾の環境をよくするために活動する会との共催による東京湾の水辺クルーズを実施した。また、世田谷区駒沢地区において一般市民を対象とした定例講演会を 9 回開催した。

さらに、社団法人日本の水をきれいにする会が実施する地球環境整備基金助成事業の一部について企画、運営に協力し、淀川およびいであ(株)大阪支社ホールにおいてセミナーを行った。

【環境保全に関する普及啓発事業】

環境保全に関する普及啓発事業としては、2008 年度の活動をまとめた「GEC 活動報告書 2009」を作成し、会員及び観察会や講演会の参加者に配布したほか、ホームページによる情報の発信を行った。

【情報収集及び情報提供事業】

情報収集及び情報提供事業として、業務受託による、ジュゴン生態の調査・研究、内湾域の再生方策や沿岸域の環境保全に関する調査・研究を行った。

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者人数	受益対象者の範囲および人数	支出額(千円)
環境学習・教育事業	子ども環境カレッジ 生き物観察・水質分析 などに関する実験等	8月29日(土) (13時～17時)	世田谷区 駒沢	18人	小学生・幼児, 保護者 (31人, 23人)	99
	子ども環境カレッジ 東京湾水辺クルーズ	10月24日(土) (9時～15時)	世田谷区 駒沢 及び東京湾	10人	小学生・幼児, 保護者 (16人, 9人)	272
	子ども環境カレッジ 住宅地・公園の身近な 冬鳥観察会	2月13日(土) (9時～12時)	世田谷区 駒沢	10人	小学生・幼児, 保護者 (19人, 6人)	43
	水環境保全セミナー 企画運営協力	12月5日(土)	大阪市	8人	一般市民 38人	500
	こども eco 検定協力	7月5日(日)	世田谷区 駒沢	1人	小学生 2人	9
	環境保全教育に関する講演会、 セミナー、 シンポジウム等	4月20日(月) 6月22日(月) 7月6日(月) 8月10日(月) 9月14日(月) 10月5日(月) 11月16日(月) 12月9日(水) 2月8日(月) (原則 17:00～ 18:30)	世田谷区 駒沢 (11月16日 は 大阪市)	5人 /1回	一般市民 114人 107人 143人 94人 64人 79人 220人 130人 78人	750
環境保全に関する普及啓発事業	ホームページの運営	年間	世田谷区 駒沢	30人	一般市民 (不特定多数)	85
	活動報告書の作成	5月発刊	世田谷区 駒沢	15人	一般市民 (発行部数 2,000部)	800
情報収集及び情報提供事業	南西諸島におけるジュゴンの生息可能性 検討調査	4月～3月	沖縄県, 横浜市 都筑区他	10人	ジュゴン研究会員及 びいであ(株)職員 (25人)	750
	沿岸域の環境保全対策の調査研究	4月～3月	世田谷区 駒沢	40人	水産関係会員 (20人)	1,670
	内湾域を豊かな海に再生するための方策 調査研究	4月～3月	世田谷区 駒沢	40人	水産関係会員及び 関連分野研究者 (30人)	1,000
	「東京湾の環境をよくするために行動する会」への参画	4月～3月	横浜市 都筑区他	8人	一般市民 (200人程度)	0
	「漁業用水問題研究会」への参画	3月	世田谷区 駒沢	10人	水産関係会員 (10人)	0

(2) その他の事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者人数	受益対象者の範囲及び予定人数	支出(千円)
	実施せず					

2 事業の実施に関する事項

NPO 法人 地球環境カレッジ 平成 21 年度開催事業一覧

日 時	事 業	備 考
4 月 20 日(月)	●第 90 回 (平成 21 年度第 1 回) 定例講演会 『捕鯨産業の過去・未来』	山村 和夫 先生 (共同船舶株式会社 代表取締役社長)
5 月 25 日(月)	※第 9 回理事会	
6 月 8 日(月)	※第 6 回通常総会 ◇GEC 活動報告書 2009 発刊 ●第 91 回 (平成 21 年度第 2 回) 定例講演会 『大ダム会議参加報告』 『第 5 回世界水フォーラムにおけるWEPAの活動と成果』 『ISO/CASCO(適合性評価委員会)及び REMCO(標準物質委員会)について』	定款変更 いであ (株) 柏原 聡 原 宏江 松村 徹
7 月 5 日(日)	○こども e c o 検定無料チャレンジ	G E C 会場運営 2 名受験
6 日(月)	●第 92 回 (平成 21 年度第 3 回) 定例講演会 『豊かな内湾再生を目指して』	鈴木 輝明 先生 (愛知県水産試験場長)
8 月 10 日(月)	●第 93 回 (平成 21 年度第 4 回) 定例講演会 『水産分野における地球温暖化対策研究戦略について』	中田 薫 先生 (独立行政法人水産総合研究センター 中央水産研究所 海洋生産部長)
29 日(土)	○子ども環境カレッジ 「夏休み☆環境+生きもの体験」	GEC ホール 38 名参加(小人 31, 大人 23)
9 月 14 日(土)	●第 94 回 (平成 21 年度第 5 回) 定例講演会 『今後の農業農村整備事業の展開方向』	中野 拓治 先生 (農林水産省 東海農政局 土地改良技 術事務所 所長)
10 月 5 日(月)	●第 95 回(平成 21 年度第 6 回)定例講演会 『地球の気候をコントロールする深海のミクロな現象』	日比谷 紀之 先生 (東京大学 大学院理学系研究科 地球 惑星科学専攻 教授)
15 日(木)	◇世田谷環境観察日記「ひかりの環境レポート」をホーム ページに掲載	8,9,10 月号 (担当者体調不良のため休 載中)
24 日(土)	○子ども環境カレッジ 「とびだせ!東京湾 秋のクルーズ見学会」	GEC ホール・東京湾 25 名参加(小人 16, 大人 9)
11 月 7 日(土)	△「みんなでよくする東京湾 2009」パネル出展	東京湾をよくするために行動する会の 活動として GEC の活動紹介
20 日(月)	●第 96 回(平成 21 年度第 7 回)定例講演会 『最新型偏波レーダー、ゲリラ豪雨災害と気候変動による 水災害影響評価』	中北 英一 先生 (京都大学防災研究所 気象・水象災害 研究部門 水文気象災害研究分野 教 授)

日 時	事 業	備 考
12月		
5日(土)	●水環境保全セミナー 「淀川とその河口の水環境と生物多様性の保全」協力	淀川・いであ(株)大阪支社ホール 38人参加
9日(水)	●第97回(平成21年度第8回)定例講演会 『私の干潟研究の歴史』	細川 恭史 先生 ((財)港湾空間高度化環境研究センター(WAVE)専務理事)
15日(火)	△ジュゴン研究会平成21年度研究成果発表会	いであ(株)沖縄支社会議室
2月		
8日(土)	●第98回(平成21年度第9回)定例講演会 『大気および水質環境計測の標準化』	指宿 堯嗣 先生 (産業環境管理協会 常務理事)
13日(土)	○子ども環境カレッジ 「鳥みつけ！&とりパン入門』	GEC ホール・駒沢緑泉公園ほか 25名参加(小人19, 大人6)
19日(金)	△漁業用水問題研究会 シンポジウム開催実行委員会	

○環境学習・教育事業 (子ども環境カレッジ)

●環境学習・教育事業 (環境保全教育に関する講演会、セミナー、シンポジウム等)

◇環境保全に関する普及啓発事業

△情報収集及び情報提供事業

事業報告参考資料

収益事業の内容

件名	発注者	事業の内容
南西諸島におけるジュゴンの生息可能性検討調査	いであ(株)	NPO地球環境カレッジ内にジュゴン研究会を設置し、京都大学荒井准教授らと南西諸島におけるジュゴンの生息可能性について資料調査、聞き取り調査、現地調査などを行った。調査結果を報告書に取りまとめるとともに、ジュゴン研究会会員及びいであ(株)職員を対象に成果報告会(12月15日 那覇市内)を開催した。
沿岸域の環境保全対策の調査研究	新日本環境調査(株)	水産関係を専門とする会員が毎週1回程度勉強会を開き、新日本環境調査が受託した関連業務を題材にして、沿岸域の環境保全対策について意見交換するとともに必要な技術指導を行った。
内湾域を豊かな海に再生するための方策調査研究	新日本環境調査(株)	豊かな海としての海域生産、水産から望まれる水域環境、そのための検討内容、等について会員及び水産等研究者と検討会を開催し、有明海を対象としたケーススタディを行った。